

富士市のごみを考える会9月通信

2005/09/10 発行責任 小野由美子

これからの予定

①	カナダノバスコシア州 ごみゼロの町視察報告会 池田こみち先生同行の旅	竹内 宮野	9月17日 (土)	夜7時～9時	丘公民館 写真多数・お土産話盛り だくさん
②	会9月例会 議題：会計後任・デポ他	縣	9月22日 (木)	午前10時～ 12時	フィランセ3F 団体研修室
③	富士市生活展	星	9月23日 (金)	午前10時～ 13時	フィランセ西館2階 健康祭り内
④	生活展特別講座 食えることから防災を考える 料理研究家で神戸で震災体験 坂本廣子先生	消費 連	9月24日 (土)	午前10時～ 12時	市役所消防庁舎7F 大会議室
⑤	市民生活講座 地球温暖化と私たちの暮らし 水谷洋一先生	田中	10月6日 (木)	午前10時～ 12時	フィランセ東館 ふくし体験室・学習室
⑥	静岡県森林環境フェア 詳細は例会で	小野	10月 7・8・9日	午前10時～ 午後5時	ツインメッセ静岡 静岡駅南口より無料シャトルバス
⑦	福祉祭り食器デポジット	時田	10月16日 (日)		中央公園
⑧	ごみ減量フェア フリーマーケットも	梅原 小野	11月5日 (土)	未定	マリンパーク フリマ出店品募集中
⑨	食器デポジット 食器貸し出し注文	9月24日	ひめなの里祭り	そば用どんぶり 500	
		10月29日	子ども劇場子ども市	カレー皿 100	
		11月6日	広見文化祭	未定	
		11月12日	ひめな授産所祭り	そば用 200	
		11月13日	青葉台文化祭	未定	

9月期報告

①平成17年(2005年)8月度例会(役員会)

開催日時 2005年8月18日(木) 午前10時～12時30分

場所 フィランセ3F 団体研修室

出席者 梅原(司会)、星、時田、縣、竹内、宮野、田中、赤松、

議題 1、ふじ祭り、青葉台デポジット報告 2、生ごみリサイクル交流会報告

3、8月31日生ごみリサイクル講演会について 4、消費連生活展について

5、星さん引越しに伴う会計後任について 6、入会パンフについて

7、食器デポジット貸し出し金額について 他

- 1、 ふじ祭りでは、県民の日地域イベントとリンクしたため、県から12万円が降りることが決定しました。
青葉台夏祭りでは、青葉台公民館の市職員加藤さんがとてもがんばってくれました。
- 2、 生ごみリサイクル交流会では、生協から3万円の補助が出ました。参加者11名
- 3、
富士市消費者運動連絡会：「市民生活講座」：第二回
2005年8月31日：富士市フィランセ大ホール
講師：栃木県高根沢町長：高橋克法さん 担当：富士市のごみを考える会
「生ごみリサイクルはまちづくりのかなめ」世の中にムダなものはないんだね
100名には及びませんでした、大勢の方がいらしてくださいました。
別紙参照
- 4、 生活展は9月23日です。生ごみリサイクルについてと、食器デポジットに関する展示をします。
9月24日の坂本さんの講演会は、田中さんが本を読んで大感激したということで決まりました。
是非、感動をご一緒してみましよう。
- 5、 5、6、7は、引き続き9月例会での検討となりました。

② コミュニティーシンクタンク委託「市民の会」8/27全体会報告 赤松

参加者16名。CTTF6名、消費連、ごみバスターズ、ごみマイスター、個人。ごみの会は竹内、宮野、縣、赤松、時田、田中、清水。

スマートプランの過去5年間及び平成16年度実績と目標との対比、評価。今年度の検討事項。について報告があり、質疑応答、討論を行いました。前期5年が終わって今年は見直しの時期なので、目標数値を上げると共に、焼却主義を脱却してごみゼロを目指す、との理念を盛り込むべきだ、との強い意見が出ました。

次に市民の会規約案を討論、採択し、全体会議⇒常任委員会⇒専門部会、と言う組織体制、活動内容、等を決めました。活動内容は

- ◎スマートプランの計画達成状況の検討評価
- ◎スマートプランの個々の施策に対する市民意識の把握
- ◎スマートプランの計画運営に対する提言

最後に代表藤安悦一郎、副代表時田裕佐、を決めて終了しました。その他の常任委員は14市民団体から1名ずつ出してもらった事になりました。

③富士駅南公民館生ごみ資源化講座報告 宮野

参加者 市役所2名 エコおばさん 4名 ごみを考える会 3名 (竹内、縣、宮野)

受講者 20名 内 田子小より お母さん 1名、 3年生 2名

内容 市役所 富士市のごみの現状説明、 およびごみ減量への協力依頼

エコおばさん (鳥居) 段ボール、腐葉土、糠を使った生ごみ処理の実演

ごみを考える会 (竹内) EMぼかしを使った生ごみ処理について

ごみを考える会 (宮野) 世界のごみ事情

感想：今回は割りに参加者も多かったのですが、これから生ごみ自家処理をやってみたいと言う人は、5～6名で少ないようでした。理由のひとつに、申請書と報告書があるように思われます。高齢者にとっては、特に報告書の提出が面倒なようです。市に検討して欲しいと思います。機会があったら言うつもりです。

④徳島県上勝町訪問記 小野

上勝町はゼロウェイストで有名な町です。しかし、人口2千人。富士市で、1町内600世帯あ



るとすれば、4人家族で2400人です。そう考えれば、町内単位でこのようなエコステーションを持つことができるだろうと思いました。可燃ごみはほとんどでないとのことで、グラム数はお聞きできませんでした。

36分別と驚いておりましたが、出口は20分別。ビンを色別に分けておりますので、それだけでも分別数は相当増えます。富士市の場合は、三橋商店さんで手作業で分けていますので、結果は同じようです。

生ごみは生ごみ処理機を全世帯に導入と町長さんは言うておられましたが、たくさん修理・廃棄・返品のものがおいてありました。田舎なので、最初は目新しがって使いますが、そのうち面倒になって、全部畑に埋めるそうです。生ごみゼロはそのとおりです。

廃油・廃プラ(ペット・キャップ・ラベル・トレー・汚れ物) 雑古紙・割り箸・古着・古布団等々も集めています。公会堂ひとつをエコステーションにしているといった感じです。

⑤第2回ごみ減量審議会報告 赤松

先ず「ごみ処理施策の現状について」と「富士市のごみ処理にかかる経費について」説明。ごみ処理経費について、小野さんから「焼却炉の減価償却を加味した経費で比較しなければ、リサイクルに熱心に取組んだ自治体は経費大となって表示され、誤解を与える」と発言。審議会の進め方について、委員からは「分科会を設けた方がよい」との意見も出ましたが、市は「分科会、小委員会は設けない。全体会議で有料化問題を総体的に議論して欲しい」との方針を変えません。環境資源協会の平井さんは「審議会の位置付けが曖昧だ。原点を見つめ直そう。審議会設置を決めた富士市の条例では、第15条で、一般廃棄物の減量化、資源化及び適正処理の推進に関する事項その他市長が必要と認める事項について、市長の諮問に応じ、調査審議するため、審議会を置く。」と定められている。と指摘しました。・・・赤松は市が「市長の諮問に応じ」を反古にして、無諮問審議会をやっているのは、条例の趣旨に反する、条例違反だと思っています。「諮問しない」という意味は「答申」を求めない、との意味だからです。